

学校だより

学校評価結果

平成 28 年 3 月 18 日
京都市立醒泉小学校
校長 高橋 義弘

『学校教育目標』 自ら学び お互いを認め高めあおうとする 心豊かな醒泉の子
～めざす子ども像～ 【粘り強くやり切る子（確かな学力）】 【人や物を大切にする子（豊かな心）】
【たくましい子（健やかな体）】 【夢をもち 伸び続けようとする子】

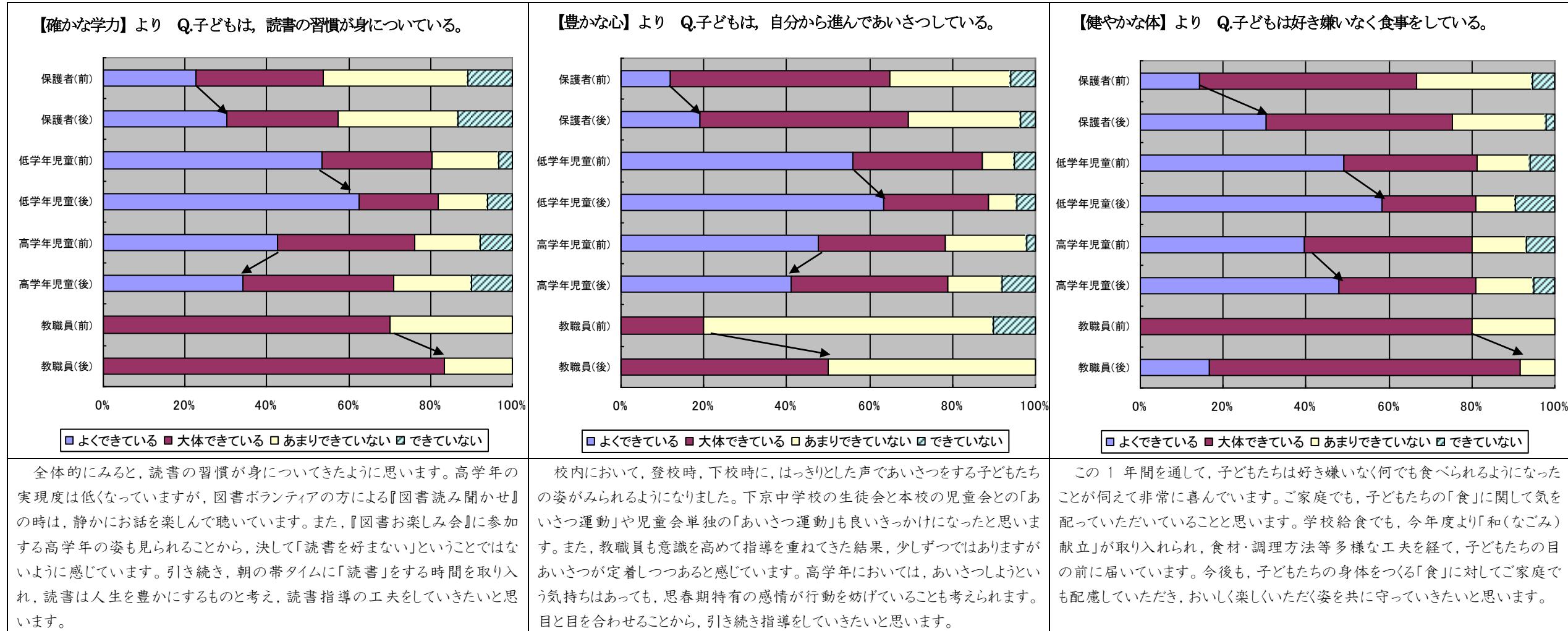
早いもので、6年生が晴れの門出を迎える日も間近となってまいりました。今年度も保護者・地域の皆様方よりご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、後期の学校アンケート結果を報告させていただきます。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。後期は、冬季休業前に、前期と同じ質問項目でアンケートを実施いたしました。前期と比較しながら、今年度の取組を見直し、来年度に向けていかしていきたいと考えています。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

【アンケート集計結果】（実現度の値は、回答の平均値を最高 7 点のスコアで表示したものです。■は 0.2 以上ポイントが上がった項目、■は 0.2 以下上がった項目です。）

質問項目 * ()は児童用の質問 児童アンケートには「子どもは」という主語はありません。	実限度（7に近いほど実現できていると考えられます。）								分析・考察	
	保護者		低学年		高学年		教職員			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
確かな学力	子どもは、授業がわかっている。（学校の授業はよくわかる）	5.3	5.4	5.5	5.9	5.8	5.9	4.6	5.0	「子どもは、授業がわかっている。」の項目については、今回のアンケートの中で全ての実現度が高まる結果となりました。子どもたちは課題に向かって一生懸命取り組んでいたと思います。また、保護者の方々に見守っていただき家庭学習も定着してきました。一方、学校ではタブレットの積極的な活用や「子どもたちにわかりやすい授業を」と、指導力向上に向けての準備・交流・模索を経てきました。教職員も一定の手応えを感じています。これからも、醒泉小学校の子どもたちの学力向上に向け、更なる指導の改善・工夫に努めていきます。
	子どもは、めあてをもってあきらめずに学習に取り組んでいる。	5.1	5.0	6.1	6.0	5.4	5.2	4.6	5.0	
	子どもは、人の話をしっかり聞いている。	4.8	5.0	5.3	5.6	5.6	5.3	4.4	4.3	
	子どもは、自分の考えをきちんと言える。	4.5	4.6	5.2	5.3	4.8	4.8	4.4	4.5	
	子どもは、読書の習慣が身についている。（たくさん本を読んでいる）	4.2	4.5	5.6	5.8	5.2	4.9	4.4	4.7	
豊かな心	子どもは、楽しく学校に通っている。（学校に来るのが楽しい）	6.1	6.1	6.1	6.3	5.7	5.7	5.6	5.5	「子どもは、学校や社会のルールを守っている。」の項目の実現度は、対極的な結果となりました。保護者と教職員の実現度は高まっていますが、低学年・高学年の児童の実現度はどちらもやや低くなりました。大人は、総体的に子どもたちの様子をみて回答したのに対して、子どもたちは、日常の一つ一つの場面を思い出して、回答したと想像します。学校や社会のルールを軽んじることなく、「当たり前のこと」と認識することができているからこそこの結果だと考えます。ルールは「より良い学校生活を送るためのもの」として意識を高めていきたいと思います。
	子どもは、お互いの良さを認め合い、自分も友達も大切にしている。	5.4	5.7	6.1	6.2	5.9	5.7	5.4	5.2	
	子どもは、学校や社会のルールを守っている。	5.5	5.8	6.1	6.0	5.7	5.4	4.8	5.0	
	子どもは、自分から進んでいさつをしている。	4.4	4.7	5.7	6.0	5.5	5.2	3.2	4.0	
	子どもは、ていねいな言葉遣いをしている。	4.3	4.6	5.5	5.6	4.9	4.9	4.4	4.0	
健やかな体	子どもは、早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が身についている。	5	5.3	5.5	5.7	5.1	4.7	5.2	5.0	「子どもは、好き嫌いなく食事をしている。」の実現度が高まり、子どもたちの嗜好が広がってきて嬉しい思います。子どもたちにとって「食」は健全な心と身体の成長に必要不可欠なものです。また、睡眠は時間だけではなく質も注目されており重要視されています。今回、高学年の生活習慣の実現度が前期よりも下回りました。学校でも声をかけていますが、ご家庭でもまずは、「早寝」ができますように生活習慣の見直しをお願いいたします。
	子どもは、自分のことは自分でしている。	4.8	5.1	6	5.8	5.5	5.1	4.8	5.3	
	子どもは、外遊びなどでよく体を動かしている。	4.6	5.2	5.8	6.1	5.4	5.3	4.8	5.2	
	子どもは、好き嫌いなく食事をしている。	4.4	5.1	5.4	5.6	5.3	5.5	4.6	5.2	
家庭・学校・地域との連携	学校は、ホームページや学校だより、学級の学習予定表などで学校の様子を分かりやすく伝えている。	5.5	5.6	/				5.4	6.3	「学校と家庭が子どものことについて、遠慮なく相談できる」項目が保護者、教職員双方に実現度の高まりがみられました。これは、時間の経過とともに保護者の方と学校の信頼感が高まり、共に子どもの指導に向き合う機会が増えたことだと捉えています。今後一層、保護者の方から信頼していただける学校となるように研鑽を積んでいきたいと思います。また、引き続き可能な限り、学校の様子についてもお便り・ホームページ等でお伝えしていきたいと思いますので、ぜひご覧ください。
	家庭では、配布物やホームページなど、学校からの情報を確認している。	5.4	5.5	/				5	5.5	
	学校と家庭が子どものことについて、遠慮なく相談できる。	5	5.2	/				5	5.5	
	学校・家庭・地域が情報交換し「地域ぐるみ」で子どもを育てようとしている。	4.8	4.9	/				5.6	5.5	

◎3つの重点「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」から、特徴的な項目について分析・考察しました。



【保護者アンケートの自由記述欄】

「今年度の取組を通して、児童の「育っているところ」と「課題」についてお気づきのこと」をご記入いただきましたが、その内容より～子どもの「言葉」についてのご意見～を一部抜粋して紹介。

- ・「チクチク言葉」「ふわふわ言葉」の取組はいいことだと思うので、家庭でも取り入れている。
- ・お友達との関わりが増えてきて、悪い言葉遣いを覚えてくるようになった。ただ成長の中の一つかなと注意しながらも見守っている。
- ・他の人に対して、はっきりと発言・意見をしてほしい。
- ・自分の気持ちや自分以外の人の気持ちを今まで以上にしっかり考えられるようになったと思いますが、考えた結果の気持ちをうまく伝えられない。言葉にできないのが課題です。
- ・間違ってもよいので、自分から積極的に授業中に発言してほしい。
- ・課題としては、自分の意見を自分の言葉で伝えるなどです。それには、家庭でのコミュニケーションや読書に自分から取り組むことではないかと思います。

【学校運営協議会でいただいたご意見より】

- ・高学年のアンケート結果は全体的に前期よりも数値が下がっている。成長の中で見られる子どもたちの姿とも捉えられるが、できている自分に目が向けられるようになってほしい。
 - ・子どもたちが「学校は楽しい」と言って登校できることが何よりも重要である。今年度、学校の雰囲気が全体的に明るく和やかな感じで良くなっているように感じる。
 - ・時代の流れからか子どもたちに個性がなくなってきていて、平均的な子どもが増えている。好きになれることが夢中になれるを見つけ、それぞれの良さを伸ばしていってほしい。
 - ・「我が子が周りの友達からおいて行かれるのではないか」と不安を抱えている親が増えていないのではないか。子どもに無理をさせ学習塾に通わせていることが生活習慣の乱れにつながってはいないだろうか。
 - ・子どもは親に頼りすぎ、親は子どもにかまいます。子どもに対する教育の仕方が変わっているように感じるが、この時代にあった教育で良い方向に育んでいってほしい。
- *たくさんのご意見の中から、「醒泉の子」を大切に温かく見守っていただいていることを改めて感じています。子どもたちを中心、地域と家庭と学校の連携をしっかりとしながら、今回の結果を踏まえて次年度の取組にいかしていきたいと思います。